

わくわく鹿児島中央認定こども園ドキュメンテーションシー

令和6年 1月31日 年長ぞう組保育参観 観点「深い学び」 平川里香

「ゲーム遊びをしよう！」	園児の姿（写真等）	エピソード
①一連の流れ 1回  どうして勝てたの 数はいくつかな長い棒もあるね 数を数えたり、全体的な造形をとらえ高さを比べました。【数量や図形等への関心感覚】 2回  崩れた！ 作戦会議！ ルールは先生が決めるの？ みんなで意見を出し合い気付いたり考える中、気持ちを一つにしています【思考力の芽生え/道徳性・規範意識の芽生え/言葉による伝え合い】 3回    「くやしかった」「楽しかった」「すごく嬉しかった」「バランスの神様がいた！」「またしたい！」 泣きだした友だちに寄り添う子や、声をかけ励ます姿がありました。振り返りをして取り組みを承認され、達成感やくやしさの中充実感も味わいます。【豊かな感性と表現】【道徳性・規範意識の芽生え】	②集団としての取り組み  大きく足を開くとふらつかないよ よそ見しないよ。渡す時はハイと言って渡すよ。 友だちを思い受け取りやすいよう工夫しました【言葉による伝え合い/協同性】 足を開く・手を伸ばす・しっかり座るなど、身体の使い方に気づき実践しました。【健康な心と体】 ③個の取り組み   僕は監督役！ ドキドキ楽しい *集団遊びには参加しないが、違う形で同じ遊びを共有し参加できた。【自立心】【協同性】【思考力の芽生え】	友だちと2チームに別れ、ブロックを高く積むゲームを行った（事前の体験あり） 3つの視点からの深い学び ①【一連の流れの中で】ゲームは3回行われ、その中で作戦会議や最後振り返りをした。 ・個人での振り返りやその後の作戦会議で、個々の想いや考えを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり/工夫したり/協力しやり遂げようとしていた。 ・作戦会議した内容をボードに書いておく事で読んで気づいたり確かめるようになる。 ②【集団として】取り組む前にルールを聞き、動きを確認したり途中、会議で出た意見を受け、動きを工夫改善した。 ・意見を出し合う中で‘早く高く積む’だけでなく失敗した事によってなぜ倒れるか、倒れないためには、と発想をめぐらせていた。 ・協力することの楽しさや面白さを実感し、さらに自分も相手も満足できるように工夫していく方法を考えていた。 ③【個として】支援が必要な子や、役割のある子がいた。 ・活動では、ルールや守らなくてはならない約束事もあることを自覚し、保育者の助言を受け、自分の力を使ってやり遂げたい目的として取り組んでいた。最後まで参加し「頑張ったり・我慢したり・自分がすごいと思えたり」する経験が表情から受取れた。
観点「()主体的な学び ()対話的な学び (○)深い学び 観点に○を付けてください。		
[工夫等よかった点]		「もう少し改善したい点」
○作戦会議では時間を確保し一人一人の声を丁寧に拾う事で、対話を通し友達の様々な考えに触れ、新しい考えを生み出す喜びや楽しさを味わう事ができその事で主体的に参加できた。 ○最終的な勝敗だけでなく、活動している子どもの喜びや工夫に気づき、しっかりと受け止め、それを他の子にも伝え承認・共有しようとした。		○繰り返しとりくむ中で役割（座る順番を）が変わると、新たな課題・取り組みへの発想や展開、相手の思いに気づきなどがうまれるかも知れない。 ○普段の生活の中や遊びの中で必要感を持って数量や文字などに関心を抱く機会を作りたい。参加人数や得点も数字としてボードに書くことで、数の関係が感覚として分かる体験に繋がるかもしれない。

